

# 入間川地区中学校統廃合説明会報告

## 【対象：東中学校保護者】

- 1 開催日時
  - 平成 25 年 7 月 29 日（月）10 時～11 時 20 分 ※参加者数 3 人
  - 平成 25 年 7 月 31 日（水）14 時～14 時 30 分 ※参加者数 10 人
- 2 開催場所  
東中学校 2 階会議室
- 3 市職員（計 6 人）  
生涯学習部長、次長兼教育総務課長、学校教育部参事兼教育指導課長、学務課長、  
学校統廃合担当課長、学校統廃合担当主査
- 4 配布資料
  - ◇ 統合後の生徒数・学級数推計表
  - ◇ 統合後の通学区域図

### ————— 主な質疑応答及び意見要望 —————

#### 統合の時期に関すること

- Q 統合の時期は平成 28 年 4 月と理解していいか。
- A 統合の時期については、次回開催の入間川地区中学校統廃合検討協議会で決めることとなります。
- Q 次回の検討協議会は、いつ頃開催する予定なのか。
- A 9 月中の開催を予定しており、次回の会議では、統合の時期とあわせて、富士見小学校区のうち中央中への通学も可能とする特別許可地区のエリアを決めたいと考えています。
- Q 統合までの準備期間は、どの程度必要なのか。
- A 平成 27 年 4 月に統合予定の入曽地区の中学校の場合、すでに統廃合計画の提言書のとりまとめ作業に入っており、入間川地区の中学校の統合を同じく平成 27 年 4 月に実施することは、狭山台地区との調整もあり、現実的に厳しいと考えています。
- Q 統合の時期が平成 29 年度以降にずれこむ可能性もあるのか。

A 文部科学省が、平成 27 年度までに学校施設の耐震化を完了させる方針を示している関係から、基本的に東中は耐震工事を行いませんので、統合の時期は遅くとも平成 28 年 4 月ということになります。

Q 東中の校舎は、平成 28 年度以降は使えないということか。

A 使用できないということではありませんが、耐震工事費にかかる補助金等の絡みもあり、統合の時期は平成 28 年 4 月がリミットと考えています。

Q 現在の東中の 1 年生は、入学する前の段階で、途中で中学校が変わるという話は聞いていないので、統合の時期は平成 28 年 4 月にすべきではないのか。

A 東中学校区の場合、狭山台中や堀兼中などへの通学が可能な特別許可地区が一部地域に設定されている状況があるため、そういった点も考慮する必要があると考えています。

- ◆ 保護者は不安だから質問しているのもあって、統合の時期についても、平成 28 年 4 月で考えているのであれば、曖昧な答え方ではなく、その方向で進めていますと もっと明確に言ってほしい。

#### 情報の周知に関すること

Q 狭山台中の保護者には説明しないのか。

A まずは狭山台中の受け入れ態勢等を話し合うための検討組織を狭山台地区に立ち上げ、その後、時機を見て狭山台中の保護者に対し理解の醸成を図っていきたいと考えています。

Q 統廃合が決まったことを、生徒に対しては誰が説明するのか。

A 生徒への説明は、関係するそれぞれの学校で行っていただきたいと考えています。

Q 東中学校区に住む現在の小学校 6 年生に対し、中学校が途中で変わることにについて何らかのお知らせはあるのか。

A 9 月に開催を予定している検討協議会で統合の時期が決まり次第、文書でお知らせします。

Q 検討協議会の話し合いは、あらかじめ保護者から意見・要望を聴いてから行ってほしい。

A 今後、時機を見て保護者アンケートを実施する予定ですので、その結果は検討協議会の委員に提示するとともに、ホームページにも掲載する予定です。

- ◆ 検討協議会で検討する課題について、事前周知もなく意見も聴いてもらえないようでは、保護者としても不安だ。
- ◆ 今までは、検討協議会のような限られた少数の人たちの間で決められてきたという感じがあるので、今後はもっと広く意見を聴きながら進めてほしい。

### 統合後に関すること

Q 統合することで、授業の内容が薄くなるようなことはないか。

A そういうことはありませんし、学習内容についても学校間で綿密に打合せを重ねていく予定です。

Q 統合後のクラス編成は、東中と狭山台中の生徒が入り混じった形になるのか。

A そのような形になります。

Q 東中の先生を、そのまま狭山台中に異動させてほしい。

A 東中の教職員全員を狭山台中に異動させることについてはお約束できませんが、そのような人事面における一定の配慮は必要だろうと考えています。

Q 狭山台中の先生の数、統合後増えるのか。

A 教職員配当基準に基づき、学級数に応じた人数の教員が配置されますが、加えて市としても臨時教員の増員を考えています。

Q 東中にある部活動が統合先の中学校にない場合は、部活動を変わずにやらないのか。

A 統合の時点で新狭山小学校区から東中に通っている中2または中3の在校生に限り、狭山台中に通うことも可能にしたいと考えていますが、狭山台中に関しては、東中で既にある部活動の設置を最優先に考え、さらに新たな部の設置も検討していきたいと考えています。なお、地域指定校外就学基準においては、指定校に希望する部活動が設置されていない場合、学校長の所見に基づき、自宅から最寄りの学校への就学を許可することを認めています。

Q 中3で学校を移る子が一番可哀そうだし、部活動もバラバラにされるなか、親としてはどうフォローすればいいのか。

A 部活動の扱いについては現在検討中であり、学校とも相談のうえ、一番良い方策を考えていきたいと思っています。

Q 大人の勝手な都合で統廃合することで、部活動などの関係で子ども達の間にはわだかまりが残るのではないか。

A 部活動の扱いについては現在検討中ですが、統合までの準備期間を十分設けるとともに、精神的なケアの視点にも留意しながら、統合して良かったと思っただけのような教育環境を整えていきたいと考えています。

Q 学区が広がるにあたり、自転車通学は認められるのか。

A 市内には概ね 2 kmを目安に自転車通学を認めている中学校がありますが、最終的には学校長の判断によります。

Q 制服や体操着などは、現在着ているものを、学校が変わってもそのまま卒業するまで着るということでいいのか。

A 入学時に購入した制服等を卒業するまで着用していただくこととなりますので、サイズが合わなくなって買い替える場合は別として、統合先の学校の制服を新たに購入していただく必要はありません。

#### **その他**

Q 東中の校舎は耐震工事をしたら崩れるという話も聞かすが、それほど老朽化が進んでいるのか。

A そういうことはありませんし、耐震指標の低い棟についてもスリット工事を施していますので、ある程度の規模の地震が起きても直ちに崩れるようなことはないと考えています。

Q 今後の入間川地区の検討協議会のメンバー構成はどうなるのか。

A 今年度からは、狭山台中の PTA 会長や狭山台地区自治会連合会の会長など、狭山台地区の関係者を新たに委員として加える予定です。

Q 廃校となる東中は、平成 26 年度以降も新入生を受け入れるのか。

A 新入生を受け入れなかった場合、一定の学級数を確保できないため、教員配置がままならず学校運営に支障をきたしますので、東中は全学年揃った状態で廃校ということになります。

- ◆ 狭山台に関連する統廃合は小学校に続いて 2 回目なので、狭山台中の保護者も喜んでいいる人はあまりいないという声を聞く。
- ◆ 狭山台中にしても、自分達より多い人数の生徒が入ってくるのは嫌だと思ふ。
- ◆ 統合までの準備期間が足りないことで、いろいろな決めごとが雑にならないようにしてほしい。